

市 政 記 者 ク ラ ブ 様

消防局救急部救急課

報道は 2024 年 6 月 26 日（水）
説明会終了後まで控えてください。



名古屋市消防局



名古屋工業大学



名古屋市における救急搬送の現状と課題

～時々刻々と変化する救急需要に応じた救急隊の最適配置に向けて～

【ポイント】

- 救急搬送者が増加し救急搬送体制ひっ迫の懸念がある
- 時期・時間帯・エリアによって救急需要に変動が見られる
- 時々刻々と変化する救急需要に応じて救急隊を適切に配置できれば、救急搬送体制のひっ迫を緩和できる可能性がある

【概略】

消防局と名古屋工業大学は、令和 2 年から、救急搬送ビッグデータと名古屋工業大学の予測技術との融合により、救急搬送者予測技術を開発し、救急隊の効果的な運用に応用することを目指すための共同研究を実施しています。

名古屋市における令和 5 年中の救急出動件数は 155,776 件（前年比 9,167 件 6.3% 増）で過去最多となり、今後もさらなる増加が予測されます。

本市では 49 隊の救急隊が出動できる体制が整備されていますが、猛暑期などには救急需要が集中して救急車の稼働率が著しく高まり、救急現場の近くに配置している救急隊が出動のため不在となり、救急車がすぐに現場に到着できないなど救急搬送体制のひっ迫が懸念されます。

名古屋工業大学による救急搬送に関するデータ分析では、本市の救急需要は時期・時間帯、またエリアによって変動することが確認されており、時々刻々と変化する救急需要に応じて適切に救急隊を配置できれば、救急搬送体制のひっ迫を緩和できる可能性があることが提言されています。

増加する救急需要に適応するため、名古屋工業大学の分析技術によって得られた本市の救急需要の特性に応じて、効果的かつ効率的な救急隊の運用を展開します。

【説明会】

本発表内容の詳細につきまして説明会を開催しますので、是非ともお越しください。

1 日 時

令和 6 年 6 月 26 日（水） 午前 9 時 30 分から 11 時 00 分まで

2 場 所

名古屋工業大学 4 号館 2 階 第 3 会議室（名古屋市昭和区御器所町）

※本説明会は、オンライン同時配信いたします(Teams 使用)。ご所属・お名前をご明記の上、<https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-teams/join-a-meeting> より下記、ID/パスコードにて会議にご参加ください。

会議 ID: 496 675 617 837

パスコード: QpX2ws

【本件への問い合わせ先】

名古屋市消防局救急部救急課 担当：市原・宇都木・笹島

TEL:052-972-3552 E-mail:00kyukyukanri@fd.city.nagoya.lg.jp